

業務名称：2018年度-2021年度JICAボランティア募集関連業務

(公告/公示日：2017年9月22日/公告番号：国契-17-074) について、入札説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。
 なお、質問には、9月29日(金)に実施した業務内容説明会で受け付けた質問を含みます。

独立行政法人国際協力機構
 調達部次長(契約担当)

通番	該当頁	項目	質問	回答
1			2017年3月～5月に実施された、春募集ですが、その参集者数、応募者数等を教えていただけませんか。	参集者数は、別添6(P120～124)に記載の通りです。 要請数、応募者数、合格者数は、以下の通りです。(別添5(P119)の追加情報) ※いずれも日系ボランティアを含みます。 青年海外協力隊 要請数：1,341、応募者数：1,314、合格者数：647 シニア海外ボランティア 要請数：238、応募者数：428、合格者数：99
2			今回は通年での募集になると思いますが、その際、従来実施をされていた「媒体を用いた春と秋の募集告知」はどのようになるご予定でしょうか。	年2回の長期ボランティア募集については、従来通り実施する予定です。また、短期ボランティアについても積極的に広報していく予定です。
3	P.2	(2) 募集関連業務の概要	今回は、今まで15ヶ所の国内拠点年間を通して募集活動をされていたと思いますが、これが今回の受託者が実施することになりますでしょうか？その場合、「どの位の予算で、何を実施されていたか」を教えてください。その予算は、今回の提示予算内で実施するのか、別枠なのか、別枠の場合は、どの地区でどの位のコストをかけていいかを教えてください。	本募集関連業務は全国が対象となります(ただし主管部署は青年海外協力隊事務局募集・選考課)。従来15拠点で実施していた応募促進業務を一括して受注者に発注しますが、これまで実施してきた内容を必ずしも踏襲する必要はありません。形にとらわれず、応募者確保に向けたイノベティブな提案を期待します。 従来の予算、実施内容は別紙3(P38～40)の「従来の実施に要した経費」、別添6(P120～124)の「2017年度春募集説明会一覧」、別添9(P156～162)ボランティアセミナー実績(2015～2016年度)をご参照ください。 また、予算は別紙1(P27)に記載のとおり、予算規模を上限目安としてください。別枠予算は想定しておりません。

通番	該当頁	項目	質問	回答
4	P. 2	(3)の① 目的	目標数字ですが、「派遣人数目標1550名」と、応募者数（年度毎に増加）では、どちらがより重要でしょうか？また、派遣人数目標の1550名は、どこの数字からの算出になりますでしょうか？	派遣人数、応募者数ともに重要です。基本方針（P3）に記載の通り、応募者数増の取り組みはもとより、開発途上国のニーズに対応し得るボランティア人材の確保も視野に入れた提案を期待します。 派遣人数目標1550名は、機構の掲げる中期計画に基づき算出した数字です。
5	P. 3	(4)②都 市部と地方 部のバラン スへの配慮	「帰国後の就職状況は改善している」とあります。これについての数字的な推移や、どのような就職先が伸びているか等を教えていただけませんか？	帰国後1年の段階で調査を行った結果では、進路が決定しているボランティアの割合及びその中で就職者の割合は次のとおりです。 2005年度 83.6%（就職者52%）、2010年度 85.8%（就職者57.7%）、 2015年度 91.5%（就職者60.5%）。 就職者の割合が増えており、それに伴って家事手伝いやアルバイトの割合が減少しています（2005年度は16.3%、2010年度は14.1%、2015年度は8.4%）。 また、帰国したボランティアと自治体や民間企業・団体との交流会を行っていますが、その中で、帰国ボランティアを地方創生や、海外展開等を推進する人材として求める声も多く聞かれるようになっていきます。
6	P. 7	①エ) 国内 拠点との連 携	「国内拠点との連携」とありますが、これは「拠点との事前の話し合い無しで、こういうことはいかがだろうか」という一方的な提案でよろしいでしょうか。また、「継続の有無について検討すること」とあります。これは受託決定後の作業として考えてよろしいでしょうか	ご提案に当たって国内拠点と事前に話し合いを行う必要はありません。 本業務委託契約は、民間競争入札実施要項P. 2に記載のとおり、段階的にJICAボランティア応募者数を増加させることが目的です。受注者にはその目的を達成するための総合的な企画をご提案いただくことを想定しており、ボランティアセミナーの継続の有無についてもその一環としてご検討いただき、技術提案書において具体的な企画を提示いただくことを想定しています。 また、民間競争入札実施要項のP. 7「エ）国内拠点との連携」を以下のとおり訂正します。 【訂正前】 2. (5) ①に記載のJICA国内拠点は所管する都道府県が定められており、地方自治体、民間企業、大学等とも接点を有してボランティア事業以外にも機構の各種事業を実施し、情報やネットワークを有するほか、国内拠点が行うイベント等と本委託業務との連携が期待されることから、国内拠点との連携も想定した企画提案を検討すること。具体的な検討や調整は、本委託業務開始後に、国内拠点との打合せ等を行い決定することとする。特に現契約において実施しているボランティアセミナーについては、各国内拠点がこれまで構築してきた各関係機関との関係性を考慮しながら、実施の効果を各国内拠点と検証したうえで継続の有無について検討すること。 【訂正後】 2. (5) ①に記載のJICA国内拠点は所管する都道府県が定められており、地方自治体、民間企業、大学等とも接点を有してボランティア事業以外にも機構の各種事業を実施し、情報やネットワークを有する。受注者は、本業務の目的を達成するにあたり、必ずしも国内拠点と密に連携した企画を提案する必要はないが、提案する企画が、国内拠点がこれまで構築してきた地方自治体、民間企業、大学等とのネットワーク等を必要とする場合、契約締結後、各国内拠点から助言やアドバイスを提供する。ただし、企画の実施・運営は、受注者が主体となっていくこととする。

通番	該当頁	項目	質問	回答
7	P. 8	応募に関する問い合わせについて 1) 電話	03-5226-9813 この番号のことでしょうか？その場合、この番号を継続して使用するということになりませんか？住所がセンタービルになっていますが、この住所は受託者が設置する事務所の住所になりませんか？また、全国の拠点はそのまましておくのよろしいでしょうか？	現在設けている問い合わせ窓口（03-5226-9813）は、2018年2月20日（火）をもって終了しますので、受注者が継続して使用することはできません。また、JICAボランティア事業概要パンフレットに掲載する問い合わせ窓口は受注者が設定する専用ダイヤルとなります。 国内拠点の問い合わせ先の廃止は行いませんが、原則、受注者に問い合わせ対応を行っていただきます。別添10（P163）に記載の応募相談窓口電話受領件数実績は、上記電話番号の受領件数であり、国内拠点の受領件数は含まれませんので、ご注意ください。
8	P. 8	応募に関する問い合わせについて 2) メール対応	jicavolunteer-boshu@jica.go.jp このメールアドレスのことでしょうか？その場合、このメールアドレスを継続して使用することになりませんか？	現在設けているメールアドレス（jicavolunteer-boshu@jica.go.jp）は、2018年2月20日（火）をもって終了しますので、受注者が継続して使用することはできません。
9	P. 8	(7) 民間競争入札の対象となる委託業務の実施場所	この「実施場所」は何を指していますでしょうか。問合せ対応の事務局なのか、年間1回は実施の募集説明会の会場なのか、両方なのか、教えてください。	本事業を企画、運営する場所（執務スペース、開催場所等）のことを指します。なお、本業務を実施する上で必要な執務スペース及び機材等については、全て受注者側で手配することを想定しています。

通番	該当頁	項目	質問	回答																																									
10	P. 9	③企画運営の質の確保	この「企画」は、説明会では無い旨説明がありましたが、過去どのような「企画」を実施されており、どの位の評価がありましたでしょうか。	<p>現契約で実施している企画は、「募集説明会」「ボランティアセミナー」です。募集説明会における詳細企画は、別添6（P120～124）の「2017年度春募集説明会一覧」をご参照ください。評価については、募集説明会実施後のアンケートで「応募しなくなった」「やや応募しなくなった」の割合を以下に記載します。</p> <p>【表1：応募意向の割合】 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>前契約 (※1)</th> <th>H27年度 (※2)</th> <th>H28年度 (※3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①首都圏</td> <td>JV</td> <td>81.47</td> <td>75.56</td> <td>87.52</td> </tr> <tr> <td>SV</td> <td>65.13</td> <td>59.96</td> <td>76.18</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②中部</td> <td>JV</td> <td>77.75</td> <td>69.00</td> <td>83.00</td> </tr> <tr> <td>SV</td> <td>63.75</td> <td>48.50</td> <td>71.00</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③関西</td> <td>JV</td> <td>78.23</td> <td>75.00</td> <td>84.00</td> </tr> <tr> <td>SV</td> <td>61.95</td> <td>61.00</td> <td>69.50</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④九州</td> <td>JV</td> <td>85.62</td> <td>74.50</td> <td>86.00</td> </tr> <tr> <td>SV</td> <td>65.60</td> <td>63.00</td> <td>75.50</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) H24年度春～H26年度秋募集の合計6募集期の平均 (※2) H27年度春・秋募集期の平均 (※3) H28年度春・秋募集期の平均</p>			前契約 (※1)	H27年度 (※2)	H28年度 (※3)	①首都圏	JV	81.47	75.56	87.52	SV	65.13	59.96	76.18	②中部	JV	77.75	69.00	83.00	SV	63.75	48.50	71.00	③関西	JV	78.23	75.00	84.00	SV	61.95	61.00	69.50	④九州	JV	85.62	74.50	86.00	SV	65.60	63.00	75.50
		前契約 (※1)	H27年度 (※2)	H28年度 (※3)																																									
①首都圏	JV	81.47	75.56	87.52																																									
	SV	65.13	59.96	76.18																																									
②中部	JV	77.75	69.00	83.00																																									
	SV	63.75	48.50	71.00																																									
③関西	JV	78.23	75.00	84.00																																									
	SV	61.95	61.00	69.50																																									
④九州	JV	85.62	74.50	86.00																																									
	SV	65.60	63.00	75.50																																									
11	P. 28	(1) 1) アおよびイ	紙の斤量の指定がありませんが、自由でしょうか？	斤量の指定はありません。ただし、裏写りするような紙は不可とします。																																									
12	P. 28	(1) 2) エおよびオ	紙の斤量の指定がありませんが、自由でしょうか？	通番11の回答をご覧ください。																																									

通番	該当頁	項目	質問	回答
13	P. 31	表中ア	紙の斤量の指定がありませんが、自由でしょうか？	「再生マットコート A判57.5kg」を使用してください。
14	P. 32	3-1 業務内容	「受託者が提案した宛先」とありますが、P 1 1 2の様式12 発送単価表には、想定発送箇所数等の記載があります。これは様式にしたがって見積を作成し、受託後にこの数字に近い発送先を提案するという認識でよろしいでしょうか？	「2018年度から2021年度JICAボランティア募集関連業務民間競争入札実施要項」の別紙1に記載のとおり、発送業務に係る経費については、受注者が各単価を設定の上、様式12に記載の想定数量を掛け合わせた合計金額を入札金額に含めてください。ただし、支払の際は、実際の発送部数に各単価を掛け合わせた金額を支払います。
15	P. 6	【全カテゴリー共通に必要な書類】②	共同企業体を結成する場合に「資格確認書類」が必要とあります。その中には【全カテゴリー共通に必要な書類】も必要になっています。この場合は、「構成員宛の返信封筒」の必要の有無、および「下見積書」も必要なのでしょうか？下見積書は弊社が構成員の費用を含めた費用で記載をする予定なので、不要なのではと思います。	共同企業体の構成員は、構成員宛の封筒及び下見積書の提出は必要ございません。
16	民間入札実施要領 P. 8	応募に関する問い合わせについて	メール対応の件数実績が分かればご教示ください。	2017年6月～9月までの延べ件数を記載しますので、ご参考ください。 6月：70件 7月：78件 8月：117件 9月：252件 年2回の募集期間是对応件数が増えることをご留意ください。

通番	該当頁	項目	質問	回答
17	民間入札実施要領 P.8	2. (6) 業務委託の詳細 ②JICAボランティアの募集に関する各種資料作成、印刷、発送業務	「ポスター等のデータを受領し、印刷を行うこと」とあるが、ポスター印刷業務は「2017年度-2019年度JICAボランティア募集広報関連業務」に含まれているので本件業務における印刷業務にはポスター印刷は含まれないのではないか。	ポスター印刷は、本委託業務に含みません。該当箇所を「民間事業者は、機構が提供するポスターを受領し、発送を行うこと。」に訂正します。
18	民間入札実施要領 P.10	2. (11) 契約の形態及び支払 ②経費の支払い	経費精算について、立て替え払いではなく、四半期毎に概算払いを受け、精算することは可能か	四半期ごとの概算払いは認めません。
19	別紙2 P.32	3-1 (1) 作業コードについて	より正確な見積算出のため、作業コード毎の発送件数をご教示いただけないでしょうか？（別添11だと作業コードまでは読み取れないため）	以下の通りです。ただし、記載の数字は発送数ではなく、発送先件数ですのでご注意ください。 早：457、ポJ：92、ポG：2064、ポ他：4603、要J：40、両J：25、他：333、募：20、医：84、通：13
20	本紙 P.13	(3) 技術提案書の内容	提案書の様式については、様式が規定されていますが、内容によっては横書きの方がよいものもあるかと思えます。様式内で規定されている項目が網羅できれば横書きでも問題ないでしょうか？	問題ありません。

通番	該当頁	項目	質問	回答
21	P119 別添5	短期ボランティアの数値	長期ボランティアの「要請数」「応募者数」「合格者」が、青年海外協力隊とシニア海外ボランティア別に示されておりますが、短期ボランティアに関する同様の数値を開示頂けないでしょうか？	末尾資料「別添5（補足）」をご覧ください。2012年度以降の数字を記載しております。
22	P. 32	3. JICAボランティア募集関連各種資料発送業務	「(1) 作業コードについて」に記載の別添12について、該当の資料がない。	正しくは別添11です。
23	説明会資料 P. 1 (末尾資料「別添1」を参照)	業務の対象範囲	短期ボランティアも業務の対象範囲として含まれるか。	業務の対象範囲として含みます。
24	説明会資料別紙 (末尾資料「別紙」を参照)	充足率	配布されている主要19職種充足率について、重点的な提案が必要か。	配布資料については資料として参考いただいた上で、職種を問わず、JICAボランティア全体の応募者数をバランスよく増やす提案を期待します。

通番	該当頁	項目	質問	回答
25	P. 4	④ターゲット別の訴求	【図1：対象業務とターゲット層】について、現契約ではどのような取り組みを行ってきたか。	応募層、関心層に対して募集説明会とその広報を、関心層、潜在的関心層に対してボランティアセミナーを実施しています。
26	P. 9	③企画運営の質の確保	企画参加者とは説明会等に参加した人が対象になるのか。	事業者が企画する応募促進業務に参加した人が対象であり、これら対象者の満足度の割合を図ります。
27	説明会冒頭説明について		JICAボランティアに応募し得る層は、今以上に多く存在しているという冒頭説明の根拠は何か。	機構はJICAボランティアの応募促進に関し、多種多様な方法で発信しています。一方でそれらを楽しんでいない人（層）が多くいることも認識しており、これまで以上に斬新な方法で応募促進を行い、応募者を獲得する努力が必要であると認識しています。
28	説明会資料 P. 3(末尾資料「別添1」を参照)	共有事項	マイページの活用について、登録すると何ができるようになるか。	募集期に公開される要請の公開状況（追加・変更・取り消し等）が随時登録者にお知らせされます。

通番	該当頁	項目	質問	回答
29	説明会資料 P.2 (末尾資料「別添1」を参照)	JICAが期待すること	事業者の積極的な提案への期待は認識するが、現行のJICAボランティアウェブサイトとの棲み分けをどのようにするか。	既存のJICAボランティアウェブサイトも様々なコンテンツを掲載しているが、同サイトについては別契約で発注しているところ、コンテンツが重ならないよう切り分けを行います。
30	説明会資料 P.3 (末尾資料「別添1」を参照)	共有事項	2019年度以降のウェブ応募（PARTNERサイト）とマイページの登録は別々に行うか。	マイページとPARTNERのIDは別物です。

以上

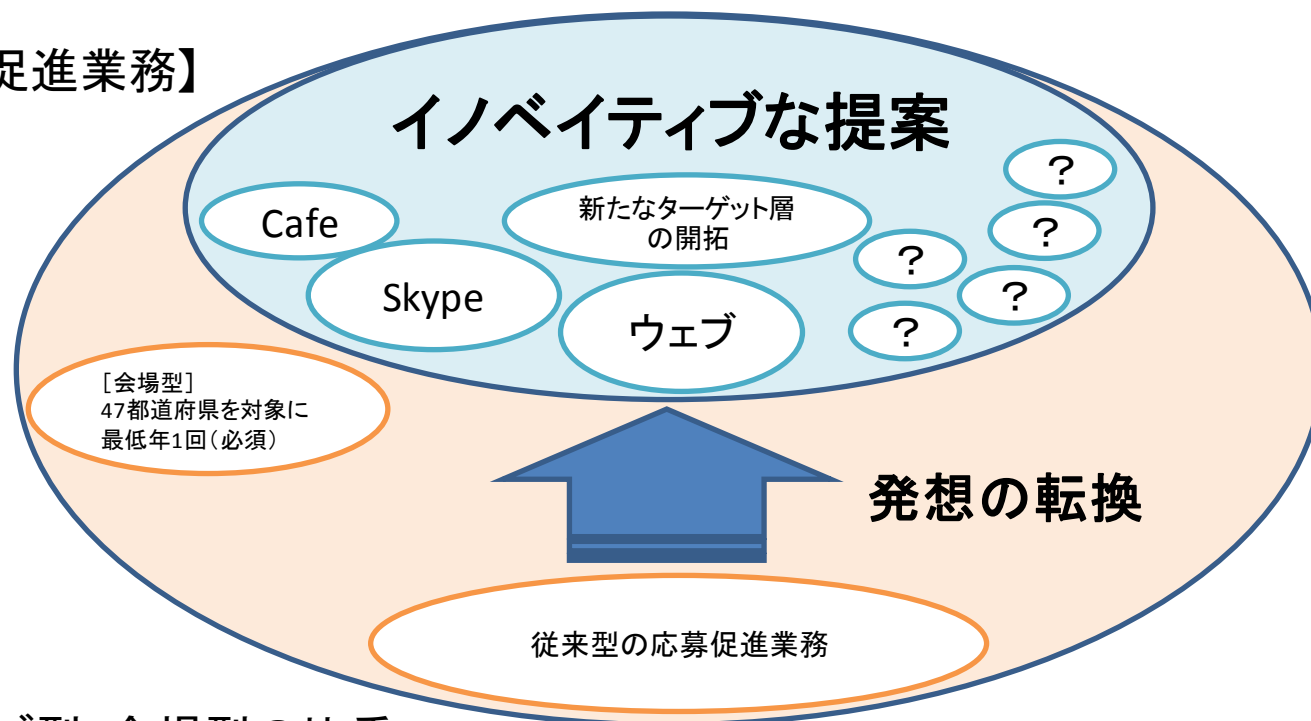
現契約と次期契約の比較

	現契約	→	次期契約
契約対象	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏(JICA筑波、東京、横浜) ・中部(JICA中部) ・関西(JICA関西) ・九州(JICA九州) ※その他国内拠点は直営で実施	→	<ul style="list-style-type: none"> ・全国一括契約(協力隊事務局 募集・選考課)
契約期間	2014年11月～2018年3月末まで(3年5ヵ月) ※首都圏契約以外は2015年1月開始	→	2017年12月上旬～2022年3月31日(4年4ヵ月)
業務の対象範囲	長期ボランティア(年2回募集)対象 ①募集説明会(年2回:春、秋)に関する業務 ②募集説明会の広報に関する業務 ③ボランティアセミナーに関する業務 ※①③は、ミニマム回数を指定	→	長期(年2回募集)・短期(年4回募集)ボランティアを対象 ①JICAボランティアの応募促進業務 ②JICAボランティアの募集に関する各種資料作成、印刷、発送業務
対象業務とターゲット層	①②→応募層、関心層 ③→関心層、潜在的関心層	→	①応募層を確実に応募に導く ②関心層を応募層に引き上げる ③潜在的関心層を関心層に引き上げ、関心層を育てる ※無関心層、潜在的関心層については、広告代理店との別契約でターゲットとしている。(別添4参照)
	<div data-bbox="540 1042 1052 1349" data-label="Diagram"> </div>	→	<div data-bbox="1294 1028 1729 1356" data-label="Diagram"> </div>

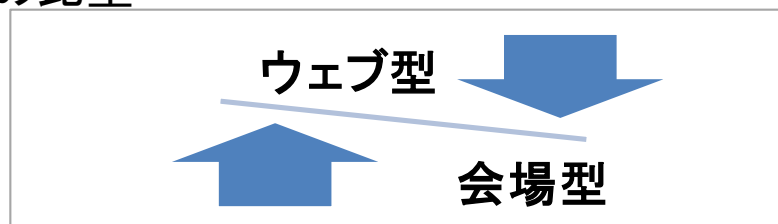
JICAが期待すること

- ✓ イノベティブな募集活動の提案
- ✓ ウェブの積極的な活用

【応募促進業務】



※ウェブ型・会場型の比重



共有事項

- ✓ JICAボランティア募集にかかる導入予定は以下のとおり

【JICAボランティアウェブサイト】
マイページの導入
(2018年3月予定)



【ウェブ応募】
PARTNERサイトから応募受付
(2019年度春募集から予定)



- ✓ 各募集期の選考結果に基づく職種別分析データ等は都度共有する

主要19職種充足率(青年海外協力隊/日系社会青年ボランティア)口
(2014年度春募集～2017年度春募集)

		要請数・応募数・合格数推移				要請数・応募数・合格数推移	
1	看護師			6	障害児・者支援		
2	感染症・エイズ対策			7	コンピュータ技術		
3	作業療法士			8	PCインストラクター		
4	理学療法士			9	青少年活動		
5	ソーシャルワーカー						

		要請数・応募数・合格数推移				要請数・応募数・合格数推移	
10	理科教育			16	コミュニティ開発		
11	数学教育			17	野菜栽培		
12	体育			18	自動車整備		
13	日本語教育			19	環境教育		
14	小学校教育						
15	幼児教育						

JICAボランティア要請数と応募者数、合格者数の推移（短期ボランティア）

年度	青年海外協力隊			シニア海外ボランティア		
	要請数	応募者数	合格者数	要請数	応募者数	合格者数
2012	439	224	146	247	148	62
2013	579	437	208	278	173	69
2014	460	373	170	219	130	49
2015	374	290	185	148	108	42
2016	457	372	205	144	167	61

※日系含む